

2020年東京オリパラ競技大会に向けた文化を通じた機運醸成の取組 全国障害者芸術・文化祭の開催

平成28年度に愛知県で開催する全国障害者芸術・文化祭では、2020年オリパラ東京大会の機運醸成に向けた「アクション」や、芸術・文化祭の開催を契機に「レガシー」として残る様々な取組を実施

【第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会における取組】

- 2020年東京オリパラ競技大会の「公認プログラム」として開催
- 全国津々浦々で機運が盛り上がるよう、地方都市におけるサテライト開催(奈良県、鳥取県及び大分県)と連携
- 安倍晋三内閣総理大臣からのビデオメッセージ

本大会

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会

【開催期間】 平成28年12月9日～11日

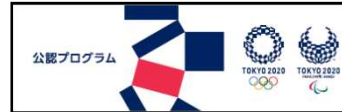
平成28年度予算額
約4千万円

【開催場所】 愛知芸術文化センターほか名古屋市内各地

【主催】 厚生労働省、愛知県及び名古屋市

【来場者数】 5万8千人(速報値) ※当初見込み3万人

「公認プログラム」
認証マーク



(認証日)
平成28年10月26日



【あいち大会のPRチラシ】

(連携)

サテライト

奈良県
(第17回大会の開催地)

第44回奈良県障害者作品展 (平成28年11月5日～13日)
奈良県障害者芸術祭 (平成29年2月4日～12日)

鳥取県
(第14回大会の開催地)

障がい者アートフェスタ2016 (平成28年10月30日)

大分県
(第18回大会の開催地)

障がい者アートフェスティバル (平成28年11月12日～20日)

第16回 全国障害者芸術・文化祭あいち大会オーガニザイイベント
東京藝術大学 (卒業生) & 愛知県立芸術大学オーケストラコンサート

「聞こえる色、見える音」

in あいち」

音を映像化し、音楽を肌で体感するコンサート。
障がいを超えて、共に歌い奏しよう！ (入場無料)

プログラム

- J. シュトラウスI世：《ラデツキー行進曲》
- J. シュトラウスII世：《春の声》
- C. ドビュッシー／ドビュッセル：《小組曲》より
- スメタナ：連作交響詩《我が祖国》より「モルダウ」
- 松下功：幻想曲《通りゃんせ》



(イメージ画像) 藝大オーケストラ・スペシヤル2015
障がいヒアーツ メインコンサート

出演

指揮・司会：松下 功 (東京藝術大学副学長)

～障害のある方に、オーケストラと一緒にステージへ登壇いただき、
音楽の振動を体感できます～ 幻想曲《通りゃんせ》

平成28年12月9日(金)

16：15開演 (17：15終演予定)

愛知県芸術劇場 大ホール



地下鉄東山線・名城線「栄」下車徒歩3分
名鉄瀬戸線「栄町」下車徒歩2分
主催：第16回障害者芸術・文化祭実行委員会
協力：東京藝術大学 C01 拠点、愛知県立芸術大学、名古屋大学、株式会社東海メディアカルプロダクツ
映像協力：東京大学 TA0 Project

【問合せ】 第16回障害者芸術・文化祭実行委員会事務局 (愛知県障害福祉課内)

電話：052-954-6697 FAX：052-954-6920 メール：powerofart@pref.aichi.lg.jp

第16回全国障害者芸術・文化祭あいち大会 イベント

さわ

かいが

ちようこく

触れる絵画・彫刻

さわられる文化財

絵の具の盛り上がりまで表現された、同素材同質感の複製絵画を展示 (※)

実際に 作品に触れながら、全身で作品を体感 してみませんか？

ゴッホやセザンヌ といった 世界的名画の複製 もありますよ！

★作品を解説するスタッフ及び手話通訳者がいます！
(※…東京藝術大学が複製特許技術を駆使して制作)



流出文化財《バーミヤン石楯
(区洞) 天井東壁に描かれた
壁画の一部》の復元



現実空間に飛び出した
マネの《笛を吹く少年》の像

平成 28 年 12 月 7 日(水)～11 日(日)

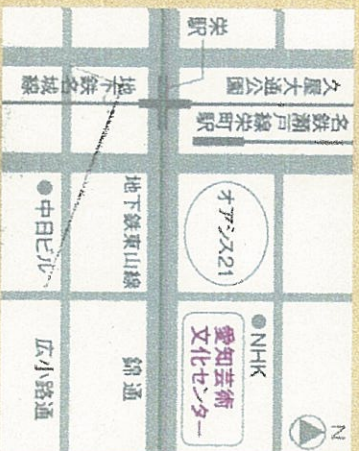
午前 10 時から午後 6 時まで

愛知芸術文化センター12 階

アートスペースE・F(入場無料)

地下鉄東山線・名城線「栄」下車徒歩 3 分

名鉄瀬戸線「栄町」下車徒歩 2 分



主催：第 16 回全国障害者芸術・文化祭あいち大会 協力：東京藝術大学 C01 拠点、名古屋大学

問合せ 第 16 回障害者芸術・文化祭実行委員会事務局 (愛知県障害福祉課内)

電話：052-954-6697 FAX：052-954-6920 メール：powerofart@pref.aichi.lg.jp



2020年東京オリパラ競技大会に向けた障害者の芸術文化振興に関する懇談会



11/9懇談会での商品展示会の風景

- ◇ 平成28年11月9日、第3回目の懇談会を開催
- ◇ 会場内で、障害者アートを活用した商品展示会を開催
- ◇ 障害者の芸術活動支援モデル事業の実施団体のうち、6団体が参加
- ◇ 懇談会出席者や傍聴者に、企業との連携や創意工夫のある芸術性の高いアートを活用した商品に触れる機会を提供

(NPO)エイブル・アート・ジャパン(宮城県)



トヨタのラッピングカーに作品を使用し、パラリンピックの話題を提供

(福)みんなでききる(新潟県)

アーティストが製作したクリスマスキャンドル



(福)グロー (滋賀県)

アーティストのデザインを活用した一筆箋



(福)みぬま福祉会(埼玉県)

アーティストのデザインと企業(BEAMS)との連携によって生まれたシャツと財布



(福)八ヶ岳名水会(山梨県)

農福連携により収穫されたお米に、アーティストの書をラベルとして活用



(一財)たんぽぽの家(奈良県)

アーティストのデザインを活用したポーチや靴下



2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた 障害者の芸術文化振興に関する懇談会の開催

- ◆ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、関係者相互の情報共有やネットワークの構築を図るとともに、障害者の芸術文化の振興に資する取組について、広く関係者による意見交換を行う。
- ◆ 平成27年6月30日、12月9日、平成28年11月9日に開催。

構成員

- ◆ 今 中 博 之 アトリエインカーブクリエイティブディレクター
社会福祉法人素王会理事長
- ◆ 上 野 密 一般社団法人全国肢体不自由児者父母の会連合会常務理事
- ◆ 岡 部 太 郎 一般財団法人たんぼぼの家事務局長
- ◆ 小 林 真 司 鳥取県福祉保健部障がい福祉課長
- ◆ 重 光 豊 特定非営利法人障害者芸術推進研究機構天才アートミュージアム副理事長
京都市教育委員会指導部総合育成支援課参与
- ◆ 柴 田 英 杞 公益社団法人全国公立文化施設協会事務局参与
出雲市芸術文化振興アドバイザー
- ◆ 鈴 木 京 子 国際障害者交流センター（ビッグ・アイ）事業プロデューサー
- ◆ 田 中 正 博 全国手をつなぐ育成会連合会 統括
- ◆ 田 端 一 恵 社会福祉法人グロー ～生きることが光になる～ 法人本部企画事業部総括
- ◆ 野 沢 和 弘 毎日新聞論説委員
- ◆ 日比野 克 彦 東京芸術大学美術学部教授
- ◆ 保 坂 健二郎 独立行政法人国立美術館・東京国立近代美術館主任研究員
- ◎ 本 郷 寛 東京芸術大学美術学部教授

「◎」は座長

(敬称略・50音順)

オブザーバー

- ◆ 内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局
- ◆ 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局
- ◆ 内閣府政策統括官（共生社会政策担当）
- ◆ 外務省（大臣官房文化交流・海外広報課）
- ◆ 国際交流基金
- ◆ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
- ◆ 関係自治体 等